

平成29年度観光振興施策実施状況報告書(個票)

No.1

1 愛媛ブランド確立による観光資源の魅力向上 (1) 愛媛ブランドの確立(オンリーワン愛媛)

施策名	①サイクリング観光の推進
ねらい	
<p>「サイクリストの聖地」としての認知度が高まっている瀬戸内しまなみ海道を中心として、サイクリングの経済効果も念頭に置きつつ、引き続き県内全域で自転車を活用した観光振興を図り、次の5年間で愛媛県を「サイクリングパラダイス」として確立することを旨とするともに、四国の「サイクリングアイランド」を推進するなど、各種取組みを進める。</p>	
事業実績	
実施者	取組内容
県	<ul style="list-style-type: none"> ○女性層等への裾野拡大、サイクリングガイド養成やサイクリングプロモーションなど自転車新文化の普及推進 ○四国一周チャレンジ1000kmプロジェクトなどサイクリングアイランド四国の情報発信 ○サイクリスト参加型サイトの運営及びサイクルトレインの運行等を通じたサイクリストの誘客環境整備 ○全県版サイクリングマップの作成配布及びサイクリング観光映像コンテンツ制作による情報発信 など
市町	<ul style="list-style-type: none"> ○今治市・尾道市と連携した広域レンタサイクルサービスの実施、ネイチャーサイクリング推進(今治市) ○レンタサイクルによる窯元めぐりなどによる観光推進(砥部町) ○予土県境「四万十・南予横断2リバーライド」開催(宇和島市・松野町・鬼北町・愛南町) ○愛媛サイクリングの日にあわせたイベント開催 など
民間	<ul style="list-style-type: none"> ○別子銅山鉄道跡を活用したまちなかサイクリング開催(元気！プロジェクト) ○山間地域の魅力を発信する「ツール・ド・玉川」を開催(今治地方観光協会) ○旅館・ホテル同業組合への自転車無償貸与による観光レンタサイクル(今治地方観光協会) ○農業体験や川漁を組み込んだサイクルプラン実施(松野サイクルミーティング) など
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)	
<p>「サイクリングパラダイス愛媛」の実現に向けて、自転車利用の裾野拡大、サイクルオアシスの拡充、サイクルトレインしまなみ号の西条方面での試行運航などサイクリストの受入基盤整備や情報発信が強化されているとともに、四国一周サイクリングの認知度向上も図られるなど、今後も、サイクリングを活用した観光振興の戦略的な取組みを進める。</p>	

No.2

1 愛媛ブランド確立による観光資源の魅力向上 (1) 愛媛ブランドの確立(オンリーワン愛媛)

施策名	②四国遍路の世界遺産登録推進
ねらい	
<p>平成27年に日本遺産に認定された四国遍路について、四国4県で連携し、インバウンドの取り込みも視野に入れながら、世界遺産への早期登録に向けた各種取組みを進める。</p>	
事業実績	
実施者	取組内容
県	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保護法上の史跡指定に必要な詳細調査を実施 ○資産の保護措置の充実に向けた文化財保護計画の策定など四国4県で取組推進
市町	<ul style="list-style-type: none"> ○四国のみち施設の維持管理・補修(西条市・久万高原町)
民間	<ul style="list-style-type: none"> ○四国遍路展や世界遺産登録推進シンポジウム開催による世界遺産登録の機運醸成及び歩き遍路用のみち案内表示シートの設置(「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会) ○世界に向けた四国遍路の情報発信及び日本遺産に認定された四国遍路の普及啓発(四国遍路日本遺産協議会)
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)	
<p>世界遺産暫定一覧表への記載という目標に向けて、官民連携組織である「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会が中心となって、構成資産の保護措置の推進と顕著な普遍的価値の証明に取り組んでおり、四国遍路の世界遺産登録は国内外へアピールできる観光資源となることから、今後も史跡指定等の取組みを加速する。</p>	

1 愛媛ブランド確立による観光資源の魅力向上
 (1) 愛媛ブランドの確立(オンリーワン愛媛)

施策名	③県内主要観光エリアの魅力向上
-----	-----------------

ねらい

全国的な認知度を誇る道後温泉を中心とした松山エリアを核として、国内外から本県への誘客促進に努める。また、国際サイクリング大会の開催等をきっかけとして、国内外における認知度が高まっている瀬戸内しまなみ海道を、新たな愛媛ブランドの柱として確立させることを目指す。さらに、豊かな自然・食・歴史文化を有する南予地域を、次の愛媛ブランドの柱として成長させる取組みを進める。

事業実績

実施者	取組内容
県	<ul style="list-style-type: none"> ○旅南予協議会を中心に「いやしの南予」ブランドの醸成や魅力発信(食と観光の連携、旅行商品造成・支援、パンフレット制作、メディアツアーなど) ○南予博のフォローアップ(いやし体験プログラム支援、南予観光情報発信、観光振興サミット開催) ○南予の誇れる遺産88箇所カード・マップ配布やカードラリー等の開催による集客向上 など
市町	<ul style="list-style-type: none"> ○別子銅山近代化産業遺産等を活用した結婚7年目を祝う銅婚ツアー開催による銅婚の里PR(新居浜市) ○100年目を迎えた佐田岬灯台をメイン観光スポットとして周辺環境整備(伊方町) ○VR技術を活用したスマートフォン向けコンテンツ開発による宇和島城の魅力向上(宇和島市) ○鬼のモニュメント設置による道の駅ならではの情報発信力を活かした鬼のまちづくり(鬼北町) など
民間	—

総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)

南予博の成果である「南予いやし体験プログラム」が地域に根付いてきており、観光プロモーションの展開、受入体制整備、ステップアップ支援を柱に「いやしの南予」ブランドを確立・発展させていく。また、各市町においても独自の観光資源を活かした取組みが進み、松山・道後からの県内周遊に向けて、次なる愛媛ブランドとなる観光地の魅力向上に努める。

1 愛媛ブランド確立による観光資源の魅力向上
 (1) 愛媛ブランドの確立(オンリーワン愛媛)

施策名	④新たな観光資源の発掘とストーリー化
-----	--------------------

ねらい

本県の実・山・川の豊かな食材や、ご当地グルメを活用するなど、食を切り口とした誘客活動を行います。また、平成27年に国定公園指定60周年を迎えた西日本最高峰の石鎚山の更なる魅力の創出とブランド力を図るなど、関係市町との連携のもと、愛媛の山観光の推進を図るほか、幅広い視点からオンリーワン愛媛の発掘とブラッシュアップに努める。

事業実績

実施者	取組内容
県	<ul style="list-style-type: none"> ○平成31年度に開催する東予東部圏域広域振興イベントのイベント基本計画・実施計画を策定 ○トレッキングルートとして人気を有する「四国のみち」の再整備による石鎚山系の魅力創出 ○県・市の連携による法皇山脈を中心とした東予の山岳観光のブランド化推進(ドローン動画、モニターツアー開催、山歩き女子部結成等の情報発信) など
市町	<ul style="list-style-type: none"> ○アクテビティ目的の様々な登山ルート提案などによる石鎚山系のブランド価値創造(西条市) ○地域ブランド「SAKURA select」の商品開発及び情報発信(東温市) ○はだか麦を使用したおやつ「はだかむぎゅ」PR活動(松前町) ○町内食材や町並み地区を活用したダイニングアウト開催による長期滞在観光客の誘致(内子町) など
民間	<ul style="list-style-type: none"> ○石鎚山系でのエコツアー体験等を通じたエコツーリズム推進(県石鎚山系エコツーリズム推進協議会) ○どぶろく、はだか麦・もち麦などの地域資源を活用したブランド推奨品PR(東温市商工会)

総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)

従前から取り組んできた東予地域における山の魅力ブランド化に加え、東予東部圏域初となる広域振興イベントへの準備を進め、圏域の資産である「山の恵み」「ものづくり産業」「文化と風土」を活かした新しい価値創造に取り組み、山岳観光・産業観光など愛媛ならではの観光資源を活かした魅力創出を推進する。

1 愛媛ブランド確立による観光資源の魅力向上
(2) 観光資源の魅力向上

施策名	⑤着地型観光プログラムの育成	
ねらい		
着地型観光は交流人口の拡大をもたらし、地域活性化に大きく寄与することから、市町・民間事業者等と連携を図りながら、着地型観光プログラムの育成を図る。		
事業実績		
実施者	取組内容	
県	○観光関係団体等が行う十分に利活用されていない地域資源を活用した持続的な観光客の増加を図る新たな取組みを支援(7件/四国遍路文化発信、面河溪誘客、道後VRサイト、愛南町PR活動、滑床キャンプ場復興、バリアフリー宿泊施設整備、萬翠荘観光促進)	
市町	○瀬戸内しまなみ海道地域等の観光資源を活用した着地型旅行商品の造成・販売(今治市) ○俳句をテーマとしたまち歩き商品の実施・充実(松山市) ○酒蔵を活用した着地型広域観光旅行商品造成(砥部町・内子町) ○学生考案による砥部焼体験、酒蔵見学や地元産ランチ等をセットにした旅行プラン造成・販売(砥部町) など	
民間	○体験プログラムを取り入れた着地型旅行商品のPR(東温市商工会) ○春のひなまつりに合わせた着地型ツアー催行(久万高原町観光協会) ○JR内子駅からの楽ちんプラン(タクシー・レンタサイクル)造成(NPO法人ProjectA.Y) ○旅行会社との連携による着地型旅行商品ブラッシュアップ(佐田岬ツーリズム協会)	
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
交流人口の拡大による地域活性化に向け、各地域ともそれぞれの魅力ある観光資源を活かした着地型観光プログラムの造成や磨き上げに取り組んでおり、今後も、多様化するニーズや旅行形態の変化に対応するため、他とは差別化された付加価値のある観光資源に着目した観光プログラムを充実させていく。		

1 愛媛ブランド確立による観光資源の魅力向上
(2) 観光資源の魅力向上

施策名	⑥滞在型観光・ニューツーリズムなど多様な観光の推進	
ねらい		
県内全域での旅行者の滞在日数の拡大を図るため、滞在型観光を推進する。また、様々なニューツーリズムや産業観光、アニメ・漫画等を活用した誘客等の取組みも生まれていることから、多様な観光を推進するとともに、多人数の宿泊により大きな経済波及効果を生み出すMICE誘致にも取り組む。さらに、観光客の様々な宿泊ニーズに対応するため、しまなみエリアや南予地域等において農林漁家民宿等を活用するなど、宿泊形態の多様化に向けた検討を行う。		
事業実績		
実施者	取組内容	
県	○グリーン・ツーリズムの情報発信やマーケティング調査、訪日外国人誘致に向けた農泊推進研修会等を実施 ○スポーツイベントの誘致・定着化促進及び東京オリンピック事前合宿誘致推進 ○県内での宿泊者延べ人数が100人以上のコンベンションに対して助成(24件) ○世界最大級の宇宙国際会議「第31回宇宙技術および科学の国際シンポジウム愛媛・松山大会」を開催	
市町	○石鎚山系を活用したアウトドア観光の促進(西条市) ○広島・瀬戸内・松山ルートを定着させる修学旅行の誘致活動(松山市) ○愛媛大学医学部を中心に温泉スポーツ体験などヘルスツーリズムモニターツアー実施(東温市) ○亀ヶ池温泉を拠点に健康と美容をテーマとしたヘルスツーリズムプログラム整備(伊方町) など	
民間	○石鎚山系エコツーリズムの推進(県石鎚山系エコツーリズム推進協議会) ○シーカヤック等のツアープログラム開発やガイド養成などエコツーリズム受入体制整備(上島町観光協会) ○東温アルプス登山や坊っちゃん劇場など地域資源活用によるエコツーリズム(東温市観光物産協会) ○町並み保存地区古民家改修によるインバウンド促進(NPO法人ProjectA.Y・内子まちづくり商店街協同組合)	
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
「モノ」よりも「コト」を重視する観光需要に応えるため、グリーンツーリズム、エコツーリズム、ヘルスツーリズムなどを推進しているところであり、古民家を活用した長期滞在を促す新たな動きも活発になるなど、国内観光はもとよりインバウンドの受入れも視野に各地域での取組みを促進する。		

1 愛媛ブランド確立による観光資源の魅力向上

(2) 観光資源の魅力向上

施策名	⑦観光客にやさしいまちづくりの推進	
ねらい		
観光客が安心感をもって滞在できる観光地とするために、観光案内、交通標識の充実など、観光客の視点に立ったまちづくりを推進する。		
事業実績		
実施者	取組内容	
県	<ul style="list-style-type: none"> ○愛媛マルゴト自転車道コースへのブルーライン整備 ○松山空港の電光掲示板での県内観光地の紹介 	
市町	<ul style="list-style-type: none"> ○市内文化財施設への案内看板を6箇所整備及び中山・双海地域の観光看板改修(伊予市) ○滞在時間延長を図る観光案内サインの整備(大洲市) ○多言語(英語・韓国語・中国語・フランス語・ドイツ語)翻訳QRコード観光情報看板の整備(内子町) ○公共施設のトイレ洋式化(松野町) など 	
民間	<ul style="list-style-type: none"> ○観光情報の発信や手ぶら観光サポート(手荷物一時預かり)を行う観光案内所「市駅前サービスステーション」設置(株式会社伊予鉄グループ) ○多言語対応タッチパネル式インフォメーションボード設置(株式会社まちづくり松山) 	
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
訪日外国人観光客の急激な増加に対応するため、民間事業者の主体的な取組みも含め、県内各地で多言語による観光案内の充実が進んでおり、本県が誇るおもてなし文化をハード面でも整備促進していくことにより、観光客の視点に立ったストレスフリーの観光地めぐり実現する。		

2 インパクトのある観光PRの展開等による誘客機能の強化

(1) 愛媛の認知度の向上と観光客層に応じた情報発信

施策名	⑧インパクトのあるテーマに沿った総合的な観光プロモーションの展開	
ねらい		
本県の魅力的な観光資源を全国に発信し観光客誘致に繋げるため、インパクトのあるユニークなキャッチコピーを用いたPR活動や、本県イメージアップキャラクターみきゃんを活用するなどの方法により、総合的な観光プロモーションの展開を図る。		
事業実績		
実施者	取組内容	
県	<ul style="list-style-type: none"> ○女性と癒しに着目した「いやされて愛媛旅～愛と姫の楽園～」をキャッチコピーに首都圏での記者発表会や観光物産PRイベントを開催するなど誘客促進キャンペーンを展開 ○初の海外経済人を含め情報発信力のある著名人等を伊予観光大使に委嘱(3名) 	
市町	<ul style="list-style-type: none"> ○新居浜太鼓祭りやだんじり展示など「祭り」PRによる情報発信(新居浜市・西条市) ○坊っちゃん劇場の役者など50名を市観光大使に任命(東温市) ○驚きと感動をもたらすストーリー性のある動画募集(伊方町) ○日本で唯一の「鬼」がつく自治体として「鬼」を核とした各種イベント開催による観光PR(鬼北町) など 	
民間	<ul style="list-style-type: none"> ○大手アウトドア総合メーカーとの連携による会報誌記事掲載及び関西圏での大規模フェア出展による石鎚山系の情報発信(県石鎚山系エコツーリズム推進協議会) ○観光大使の「バリィさん」やタレント「みかん」による今治市の認知度向上(今治地方観光協会) 	
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
観光地としての本県の認知度・ブランド力を高め、観光誘客を促進するため、県や各市町において地域の魅力を象徴する素材やテーマをもとに観光プロモーションを展開している。今後は、デジタルマーケティングの手法も取り入れながら、効果的に誘客ターゲットに訴求する情報発信力の強化を図る。		

2 インパクトのある観光PRの展開等による誘客機能の強化

(1) 愛媛の認知度の向上と観光客層に応じた情報発信

施策名	⑨観光と物産の一体的な情報発信
ねらい	
観光地に関する情報や、本県の特産品等に関する情報発信拠点となる施設を県内外において充実・強化することにより、本県を訪れる観光客の利便性を高め、本県のイメージアップ、県産品のPR及び販路拡大を図るとともに物産や食を目的とする観光を推進する。	
事業実績	
実施者	取組内容
県	<ul style="list-style-type: none"> ○首都圏アンテナショップ「香川・愛媛せとうち旬彩館」での特産品販売、郷土料理提供及び観光情報発信 ○民間の発信力・販売力を活用した首都圏での新たな情報発信拠点「シン・エヒメ」開設 ○首都圏等での県産農水産物(愛媛あかね和牛、愛媛クィーンズブラッシュ、伊予の媛貴海)のPR ○デルフィニウム新品種「さくらひめ」を活用した働く女性をターゲットにしたイメージ戦略の展開 など
市町	<ul style="list-style-type: none"> ○別子銅山産業遺産や新居浜太鼓祭りなど新居浜ブランドの首都圏PR(新居浜市) ○全国の町村が出展する大規模イベント「町イチ! 村イチ!」での観光物産PR(上島町) ○上野動物園での野間馬やしまなみ海道の観光宣伝イベント実施(今治市) ○首都圏での砥部焼等のニーズ調査及び観光情報発信(砥部町) など
民間	<ul style="list-style-type: none"> ○「えひめ愛顔の観光物産館」での物産販売・観光情報発信、県外SCでの愛媛フェア開催(県観光物産協会) ○東京・大阪・福岡・広島・北海道等での観光キャンペーン実施(県観光物産協会) ○県外での物産展開による観光と物産の一体的な情報発信(新居浜市観光協会・新居浜市物産協会) ○首都圏等での物産と観光展の開催(松山観光コンベンション協会) など
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)	
物産販売が好調な情報発信拠点「せとうち旬彩館」に加え、民間の発信力・販売力を活用した拠点を首都圏に新設し、観光物産情報の発信力強化を進めたとともに、各機関・団体においても県外での観光物産情報の発信に力を入れている。今後も、県内外の情報発信拠点の充実強化に努め、特産品PRを通じて本県の魅力向上を図る。	

2 インパクトのある観光PRの展開等による誘客機能の強化

(1) 愛媛の認知度の向上と観光客層に応じた情報発信

施策名	⑩メディア、スマホ、SNS等を通じた的確な発信
ねらい	
愛媛県の観光HPである「いよ観ネット」を愛媛観光の情報発信ツールの「核」として捉え、タイムリーで質の高い情報提供ができるツールや、観光客の目線に立った話題性のあるコンテンツを取り入れて充実を図る。	
事業実績	
実施者	取組内容
県	<ul style="list-style-type: none"> ○首都圏、近畿圏でのパブリシティ活動によるメディアを通じた魅力発信(メディア掲載:延べ1,010件) ○モバイルファースト設計による県観光サイト「いよ観ネット」全面リニューアル(アクセスランキング表示、観光地レコメンド機能、宿泊手配・飲食店検索・体験メニュー紹介システム導入など)を行い、観光客目線での情報発信強化
市町	<ul style="list-style-type: none"> ○WEBサイト・フェイスブック・ツイッターなどによる観光情報発信(各市町) ○砥部焼PR映像のTrueViewインストリーム広告活用による情報発信(砥部町) ○内子町公式観光サイトでのリスティング広告を実施(内子町) ○伊達なうわじま観光アプリを防災や健康モードとの連携による利用促進(宇和島市) など
民間	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページ全面リニューアルによる愛媛DMO活動情報の発信強化(県観光物産協会) ○石鎚山系の魅力をホームページやフェイスブック等による情報発信(県石鎚山系エコツーリズム推進協議会) ○松山の魅力をメディアやフェイスブックにより発信(松山観光コンベンション協会) ○イベント、グルメ、宿泊、体験、ツアーなどの観光情報をホームページ発信(佐田岬ツーリズム協会) など
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)	
本県観光サイトの全面リニューアル効果により、サイト平均滞在時間が大幅に改善するなど観光ガイドブックとしての役割を強め、愛媛観光の需要喚起につながっている。観光に関する需要や関心が多様化、細分化する中、引き続き、WEBサイトやSNSを通じた戦略的な観光誘客を図る。	

2 インパクトのある観光PRの展開等による誘客機能の強化

(1) 愛媛の認知度の向上と観光客層に応じた情報発信

施策名	⑪コンテンツを活用した情報発信	
ねらい		
<p>本県において、様々な映画・テレビ・CM等の撮影が行われるとともに、本県を題材とした舞台作品の上演等も行われており、放映や上演等を通じて本県に大きな集客効果をもたらしていることから、引き続き情報提供やロケーションを誘致する機能の充実・強化を図る。</p>		
事業実績		
	実施者	取組内容
	県	○えひめフィルム・コミッションにおいてロケに関する情報提供や、道路・公共施設等の使用許可手続のサポートなど、本県を舞台とする映画やテレビドラマなどのロケ誘致活動を実施(誘致実績:15本)
	市町	○映画やドラマのロケ地を活用した観光PR(大洲市)
	民間	○映画、テレビや雑誌等の撮影窓口を担うなどのロケハン支援(今治地方観光協会)
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
<p>29年度は、TVドラマ「リバーズ」のほか14本の映画・TV・CM等のロケ支援実績があったほか、映像関係者からの問合せも53件にのぼり、今後も本県のイメージアップと観光客誘致に向け、映像関係者への積極的なPR活動を展開し、効果の高いロケ誘致に取り組む。</p>		

2 インパクトのある観光PRの展開等による誘客機能の強化

(2) 誘客機能の強化

施策名	⑫えひめファンづくり	
ねらい		
<p>平成26年度に運用開始した、本県観光スマホアプリ「みかん人倶楽部」の機能充実を図るとともに、連携したイベント実施等により、えひめファンの増加と観光客の周遊促進を図る。</p>		
事業実績		
	実施者	取組内容
	県	○えひめファンづくりの推進のため、スマートフォンを活用した観光パスポート「みかん人倶楽部」を継続運営し、県内周遊を図る各種ポイントラリー実施 ○「愛媛&みきゃん応援団」の応援活動、首都圏等でのPR活動や動画サイトによる情報発信 ○えひめ国体・えひめ大会でのおもてなし特命副知事「みきゃん」として全国からの来県者をおもてなし
	市町	—
	民間	—
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
<p>全国的な知名度を誇る「みきゃん」を通じて、えひめ国体・えひめ大会でのおもてなしや観光スマホアプリ「みかん人倶楽部」の運用に取り組み、全国でのえひめファン拡大やリピーター確保につながっている。今後も、「みきゃん」を活用した本県の魅力向上を図るため、観光アプリの機能充実やイメージアップ戦略に取り組む。</p>		

2 インパクトのある観光PRの展開等による誘客機能の強化

(2) 誘客機能の強化

施策名	⑬広域連携による誘客促進	
ねらい		
平成27年に国の広域観光周遊ルートが認定され、受入環境整備や情報発信、プロモーション活動が進められていることから、これらの動きと連携し、新たな観光周遊ルートの創出や旅行商品造成等を促進し、国内外からの観光客誘致と地域活性化を図る。		
事業実績		
	実施者	取組内容
	県	○四国ツーリズム創造機構と連携し、四国デスティネーションキャンペーン、航空会社とのタイアップキャンペーン、高速道路・船会社による四国まるごとドライブパスの実施、ツーリズムEXPO出展 ○せとうち観光推進機構と連携し、広域マーケティングやプロモーション、クルーズ・サイクリング・アート等に焦点を当てたプロダクト開発・販売促進、受入環境整備等を実施 など
	市町	○「石鎚山系連携事業協議会」による広域連携プロモーション(西条市・久万高原町) ○尾道市と共同設立した協議会による日本遺産に認定された村上海賊の魅力発信(今治市) ○広域観光連携推進協議会による首都圏等での観光誘客PR及びWEB情報発信(松山市、東温市、砥部町) ○えひめ町並みミュージアム構想推進協議会による観光周遊プランの発信(大洲市、西予市、内子町) など
	民間	○四国4県観光協会による大型ショッピングセンターでの観光PRキャンペーン(県観光物産協会) ○しまなみ海道全体でのマーケティングプロモーション・レンタサイクル実施(しまなみジャパン) ○高知市・米子市観光協会と連携した山陰・四国スタンプラリー実施(松山観光コンベンション協会) ○広島観光コンベンションビューローとの協定締結による観光交流・誘客促進(東温市観光物産協会) など
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
観光の広域周遊が急速に進んでいる中、四国ツーリズム創造機構やせとうち観光推進機構への積極参画を図り、情報発信、プロモーションや受入環境整備に取り組んでいるほか、県内各地でも近隣との連携によるプロモーション活動を展開しており、引き続き、既存の圏域を越えた広域観光の振興に取り組む。		

2 インパクトのある観光PRの展開等による誘客機能の強化

(2) 誘客機能の強化

施策名	⑭物語性のある旅行商品造成	
ねらい		
観光客により深い印象を与え、観光地を来訪・再訪してもらうためには、観光資源に物語があることが重要な要素となることから、観光地の歴史や成り立ちに注目し、物語性のある観光資源づくりに取り組む。		
事業実績		
	実施者	取組内容
	県	○上質な食と旅をコンセプトに海・山・川の食材の宝庫である南予の食と場所をセットにした「食の南予カルトナーージュ」旅行商品造成
	市町	○石鎚山系周辺自治体との連携協定締結による石鎚山系魅力発信(西条市)
	民間	○地域素材(人力車・道後温泉体験、宇和海ミニクルーズ、内子散策、西条・東平ガイド散策、砥部焼・酒蔵巡り、果物狩り・ご当地グルメセットなど)を活用した着地型旅行商品(11商品)の造成(県観光物産協会)
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
愛媛DMOにより県内各地域における強みの把握や地域資源の掘り起しに組み込み、優れた観光素材を盛り込んだ着地型旅行商品の企画開発を強力に推進しており、今後は、体験型コンテンツの新規開拓や1日県内周遊観光商品の造成など観光需要の拡大が見込める観光地域づくりを進める。		

2 インパクトのある観光PRの展開等による誘客機能の強化

(2) 誘客機能の強化

施策名	⑮多様化する観光客のニーズに対応した的確な誘客活動	
ねらい		
ビッグデータ等を活用した戦略的な取組みなど、多様化する観光客ニーズに対応した的確な誘客活動を行う。		
事業実績		
実施者	取組内容	
県	○南予広域連携観光交流推進協議会による誘客促進ワーキング開催や旅行商品販売・造成支援	
市町	○石鎚山系周辺自治体で設立した「石鎚山系連携事業協議会」での入込客動向調査など石鎚山系魅力発信(西条市)	
民間	○旅行会社向け商談会参加、首都圏等の旅行会社セールス活動など旅行者ニーズの把握(県観光物産協会) ○旅行会社へのパンフレット作成経費助成、個人旅行者向け誘客Webプロモーション及び旅行会社との共同プロモーションによる誘客強化(県観光物産協会) ○内子町公式観光サイト「内子さんぼ」でのネット宿泊予約システム(内子町観光協会) など	
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
観光ニーズの多様化や旅行形態の変化(個人旅行が主流)に対応するため、BtoC・BtoBへの営業活動を通じた旅行者・旅行会社のニーズ把握に努めており、引き続き、本県が誇る自然、歴史文化、グルメ、アクティビティなど魅力ある観光資源をターゲット層に応じたPRしていくことにより、さらなる誘客拡大を図る。		

2 インパクトのある観光PRの展開等による誘客機能の強化

(2) 誘客機能の強化

施策名	⑯公共交通機関との連携	
ねらい		
航空・鉄道・船等の公共交通機関と連携し、観光客の利便性向上につながる取組みを進めるとともに、観光客誘致につながるような各種企画の展開や、旅行商品造成等に取り組む。		
事業実績		
実施者	取組内容	
県	○JRとの連携によりサイクルトレインの運行などサイクリストの二次交通を支援 ○高知県航空利用促進協議会と連携し、松山・高知両空港の相互利用による四国西南地域周遊旅行商品の造成支援及び鉄道・バスによる周遊きっぷの造成販売 ○シンポジウム開催や各種広報活動等による四国新幹線の導入促進	
市町	○バス、渡海船を利用した観光施設を巡るスタンプラリー開催(新居浜市) ○松山ー広島間の航路パッケージ化による船旅の利便性向上及び新幹線と航路を組み合わせた格安きっぷ造成(松山市) ○観光列車「伊予灘ものがたり」での特産品プレゼントやおもてなし(沿線市町) など	
民間	—	
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
交通手段の充実とは四国4県の共通課題であり、航空会社によるレンタカー・周遊バスを利用した旅行商品開発など二次交通の課題解消に向けた取組みを推進しているが、観光誘客にあたっては、さらに公共交通機関との連携を深める必要があることから、広域連携の枠組みの中で観光客の交通手段充実に努める。		

3 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国際観光の一層の推進

(1) 海外での認知度の向上と外国人観光客の受入環境の整備

施策名	⑰東アジア、東南アジア等をターゲットとした誘客・プロモーションの展開
ねらい	
松山空港ソウル線・上海線やチャーター便を活用した韓国、中国、台湾からの誘客に加え、訪日熱が高まっている東南アジア等からの誘客に取り組む。また、本県の認知度向上を目指して、現地展示会への出展や旅行会社へのプロモーション等を行うとともに、「サイクリング」や「瀬戸内」など本県の魅力ある観光素材をフックとした誘客を図る。	
事業実績	
実施者	取組内容
県	<ul style="list-style-type: none"> ○松山ー上海便・ソウル便を活用した外国人観光客誘致 ○台湾チャーター便運航支援、台湾へのサイクリングプロモーション隊派遣や旅行会社プロモーション活動 ○中国陝西省との友好交流協定締結による西安市への本県観光物産情報発信拠点の設置 ○シンガポールでの旅行展出展、商談会開催や旅行会社向けプロモーション活動を実施
市町	<ul style="list-style-type: none"> ○日台観光サミットにおける鉄道観光フォーラム開催(西条市) ○台北市をメインターゲットに現地での観光PRによる交流促進・観光客誘致(松山市)
民間	<ul style="list-style-type: none"> ○台湾・香港・タイでの旅行博、キャンペーン出展、商談会、旅行会社訪問を実施(県観光物産協会) ○韓国・台湾の航空会社・旅行会社訪問による安定運航、新規開拓のプロモーション活動(県観光物産協会) ○台湾からのファミトリップや商談会開催、タイ・香港等からのメディア招聘による観光PR(県観光物産協会) ○フランス人ジャーナリストを招請した取材等による在仏旅行会社への訴求(内子町) など
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)	
ソウル線就航へのトップセールスや台湾からのチャーター便運航支援など、東アジア圏域を中心に誘客プロモーションを継続してきたところ、外国人宿泊者数は年々着実に伸びてきている。今後も、訪日外国人誘致への取組みを強化していき、ターゲット国での本県への知名度を高めることにより、外国人観光客数を増加させる。	

3 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国際観光の一層の推進

(1) 海外での認知度の向上と外国人観光客の受入環境の整備

施策名	⑱おもてなしの心を伝える外国人観光客受入環境の充実・強化
ねらい	
日本遺産として認定を受けた「四国遍路」で培われた「おもてなしの心」を活かし、さらなる外国人観光客の誘致につなげるため、外国語案内表記や多言語版パンフレット、FreeWi-Fi等の受入環境整備を促進するとともに、来訪者に対するおもてなし外国語研修などを通じた人材育成を推進する。	
事業実績	
実施者	取組内容
県	<ul style="list-style-type: none"> ○松山空港国際線ターミナルビルの空港施設使用料等への補助による松山空港の国際化推進 ○えひめFreeWi-Fiアクセスポイントの観光施設や公共施設等への整備拡大(1,677箇所)及び多言語対応「えひめFreeWi-Fiポータルサイト」での情報発信強化 ○在住外国人の活用による中予地域での外国人目線を取り入れた観光まちづくり推進
市町	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語パンフレット制作、観光案内版の多言語対応や観光ガイドの外国語対応等(新居浜市) ○多言語(日本語・英語・中国語・韓国語)による観光情報WEBサイト運営(松山市) ○観光看板、冊子やパンフレット等での音声を含めた多言語案内及びキャッシュレス環境の整備(内子町) ○外国人観光案内所の開設及びキャッシュレス環境の整備(宇和島市)
民間	<ul style="list-style-type: none"> ○旅館従業員等観光従事者を対象とした外国語研修会(英語・韓国語・中国語)の開催(県観光物産協会) ○インバウンド受入対策検討、指差し会話シートやおもてなしマニュアルの配布(県観光物産協会) ○観光鳥瞰図(イラストマップ)の多言語化(新居浜市観光協会) ○外国語に対応できる観光案内所(市内3箇所)の運営(松山観光コンベンション協会)
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)	
年々増加する外国人観光客の受入整備と利便性確保に向け、県・市町・民間ともに多言語案内対応、観光ガイド育成やFreeWi-Fi環境の整備に積極的に取り組んでいるところであるが、すべての外国人旅行者がストレスなく快適に本県観光を満喫できる環境を整えるため、より一層、受入環境の充実強化を図る。	

3 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国際観光の一層の推進
 (1) 海外での認知度の向上と外国人観光客の受入環境の整備

施策名	⑱訪日外国人誘客につながる観光資源の発掘、活用と情報発信	
ねらい		
瀬戸内しまなみ海道サイクリングやキャニオニング等魅力ある観光資源を活用したアクティビティ着地型旅行商品の充実や、本県の食材や歴史・文化、農林漁業等地域資源を活用した体験メニューの開発など、インバウンド観光資源のブラッシュアップを図るとともに、それらの情報発信等を促進する。		
事業実績		
	実施者	取組内容
	県	○多言語版観光情報サイト「Visit Ehime Japan」を活用した体験型メニュー等の情報発信 ○四国一周サイクリングルートを観光資源に旅行会社招聘、台湾からの四国一周サイクリングツアー受入 ○県内サイクリングロードで実施されるサイクリングツアー助成 ○外国人の嗜好にあった伝統的特産品の商品開発・ブラッシュアップ支援 など
	市町	○訪日インバウンドメディア「VOYAPON」記事掲載による英語圏・スペイン語圏への情報発信(東温市) ○フランス人の嗜好に合った滞在プラン開発によるフランスからの誘客促進(内子町) ○海外を中心としたWebマガジン等での情報発信、インバウンド商談会参加や外国クルーズ客船おもてなし(宇和島市) など
	民間	—
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
本県の知名度の低さが誘客活動の課題であるが、海外版観光サイトを11年ぶりにリニューアルし、各国の趣味嗜好に合わせたコンテンツ表示など情報発信力を強化したほか、世界に誇るしまなみ海道サイクリングや四国を核に誘客に取り組んでおり、今後は、外国人に人気の高い体験型コンテンツの情報発信を強化することにより誘客拡大を図る。		

3 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国際観光の一層の推進
 (2) 広域連携による外国人観光客の誘致促進

施策名	⑳広域観光周遊ルート等を活用した誘客促進	
ねらい		
四国遍路と瀬戸内をテーマとした広域観光周遊ルート形成促進事業に積極的に取り組み、近隣各県や関係団体等と連携し、テーマ性やストーリー性のある観光ルートの設定や情報発信等を推進するなど、関係団体等との役割分担をしながら効率的な誘客施策の展開を図る。		
事業実績		
	実施者	取組内容
	県	○山陰・瀬戸内を巡る広域観光周遊ルートへの旅行会社・ブローガー招請のほか、上海での旅行博覧会出展による情報発信
	市町	○県内大学留学生を対象としたモニターツアー実施によるSNS発信やアンケートに基づく受入環境整備(新居浜市) ○新ゴールデンルートにあたる松山-広島航路で外国人特別割引サービス実施による外国人観光客誘致促進(松山市) など
	民間	—
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
「せとうち」「四国遍路」をテーマとした広域観光周遊ルートを有効に活用しながら、四国ツーリズム創造機構やせとうち観光推進機構(せとうちDMO)とも連携し、関係県・市町、交通運輸機関等とともに戦略的なインバウンド誘客の促進を進めており、今後一層、近隣県や関係市町等と緊密に連携しながら、外国人観光客の周遊促進を図る。		

3 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国際観光の一層の推進

(2) 広域連携による外国人観光客の誘致促進

施策名	㉑近隣県と連携した国のビジット・ジャパン地方連携事業による誘客	
ねらい		
外国人観光客の一層の誘致を図るためには、誘致エリアの認知度向上が重要となることから、中国四国各県と連携し、国のビジット・ジャパン地方連携事業を活用して、四国一周サイクリングルートやしまなみサイクリングなど共通の観光素材をテーマとしたプロモーション等に取り組む。		
事業実績		
	実施者	取組内容
	県	○旅行会社の視察ツアーやプロモーション素材制作など四国一周サイクリングの情報発信 ○シンガポールのメディア招請ツアーなど東南アジアへのプロモーション ○台湾及び香港における九四ルート認知度向上に向けたプロモーション ○JR・バス・フェリー等を活用した周遊パスでの外国人誘客促進 など
	市町	○石鎚山系周辺自治体で設立した「石鎚山系連携事業協議会」での石鎚山系魅力発信(西条市)
	民間	—
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
中国・四国・九州の近隣県と連携した四国一周サイクリングルートPR、東アジア・東南アジアでの観光情報発信に取り組み、ターゲット国からの観光客誘致を強力に推進している。引き続き、誘致エリア(瀬戸内・四国・愛媛)の認知度向上を目指して、関係県等との連携強化による効果的な誘客促進事業を展開する。		

3 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国際観光の一層の推進

(2) 広域連携による外国人観光客の誘致促進

施策名	㉒東京都等と連携した外国人観光客の本県への誘導	
ねらい		
平成32年の東京オリンピック・パラリンピック開催を絶好の機会と捉え、東京都や旅行会社等と連携し、本県への誘客に向けた情報発信や誘導方策の検討等に取り組むなど、「東京プラスワン」の外国人観光客誘致を推進する。また、東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、訪日外国人が増加すると考えられることから、個人旅行が多く滞在日数が長い傾向にある欧米豪についても誘客の促進を図る。		
事業実績		
	実施者	取組内容
	県	○東京都と中四国各県・交通事業者の連携による東京からの誘客に向けた情報発信 ○個人旅行の促進に向けた県内の体験型アクティビティ等の情報発信 ○海外に支店を有する旅行会社と連携した「東京+愛媛」旅行商品の販売と認知度向上プロモーションの実施
	市町	—
	民間	—
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
首都圏から本県への誘客の道筋を作るため、訪日個人旅行者を対象とした本県へのオプションツアーの造成や、瀬戸内エリアパスや山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパスの活用等に取り組んでおり、今後も、東京都と連携した首都圏プラスワンの訪問先として本県の認知度向上と魅力を活かした誘客を促進する。		

4 地域の総力を挙げた取組みの推進

施策名	㉓観光人材の育成及びおもてなしの取組みの強化	
ねらい		
県民が愛媛に誇りを抱き、愛媛の魅力の発信者になるとともに、さらなるホスピタリティの充実・向上や観光産業の強化に向けて、各種普及啓発活動に加えて、より具体的に、目に見える形の施策展開を図り、特に次世代の育成に留意する。		
事業実績		
実施者	取組内容	
県	○東予地域の産業遺産等を語る「TOYO産業遺産ガイド」養成、学習・交流会によるフォローアップ	
市町	○観光ボランティアグループ・ガイドによる案内やガイドの養成・スキルアップ(各市町) ○マイントピア別子東平での産業遺産観光案内(新居浜市) ○道後温泉地元小学生「まつやま観光キッズ」によるおもてなし、松山観光文化コンシェルジュ講座「ふるさとふれあい塾」開講(松山市) など	
民間	○おもてなしにより観光客に感激・感動を与えた四国内の観光関係事業者等を表彰(県観光物産協会) ○石鎚山系エコツアーガイド人材育成研修実施(県石鎚山系エコツーリズム推進協議会) ○観光・交通・宿泊機関等を対象とした研修・講習会の実施(今治地方観光協会) ○市民への語学講座開催による語学ボランティアガイドへの登録(松山国際交流協会) など	
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
愛媛ファンの拡大や愛媛リピーターの確保には、旅先でのおもてなしにより好印象を持ってもらうことが重要であることから、これまでも県内各地で観光産業従事者向けのホスピタリティ研修やボランティアガイドの養成を図っているところであり、引き続き、県内における観光人材の育成と資質向上に取り組む。		

4 地域の総力を挙げた取組みの推進

施策名	㉔住民・民間・行政が連携した推進体制の整備	
ねらい		
地域間競争が激化する中で、本県の観光振興を図るには、オール愛媛による取組みが必要であることから、住民・民間・行政が連携した推進体制の整備を進める。		
事業実績		
実施者	取組内容	
県	○県観光物産協会を核とする愛媛DMOを設立し、旅行業資格取得、専門人材の配置、日本版DMO候補法人への登録などDMOの基盤づくり	
市町	○別子銅山産業遺産や新居浜太鼓祭りを核とした観光戦略「新居浜市観光振興計画」策定(新居浜市) ○石鎚山系周辺自治体で設立した「石鎚山系連携事業協議会」による石鎚山系魅力発信(西条市) ○瀬戸内・松山ツーリズム推進会議を中心に瀬戸内海での新たなツーリズム創造(松山市) ○おおず版DMOの検討(大洲市) など	
民間	○地域の様々な関係者を巻き込み県内4地域で主体的な観光地域づくりの取組促進(県観光物産協会) ○しまなみ海道エリア全体をマネジメントした観光戦略の実施(しまなみジャパン)	
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
県内各地において地域連携DMOや地域DMO設立に向けた動きが見られ、多種多様な機関との連携による観光地域づくりが進んでいるところであり、愛媛DMOにおいても基盤づくりに取り組み、観光振興と物産振興の相乗効果による観光誘客の拡大を目指して、段階的にその機能の充実強化を図る。		

4 地域の総力を挙げた取組みの推進

施策名	⑳異業種・異分野における、観光を意識した取組みの強化	
ねらい		
裾野の広い総合産業としての本県観光の更なる振興を図るため、より魅力的な観光資源の創出や効果的な情報発信に向け、異業種・異分野と連携した取組みを進める。		
事業実績		
実施者	取組内容	
県	<ul style="list-style-type: none"> ○東予地域の産業遺産を文化的資源として活用 ○県景観形成推進会議での先進地事例紹介等を通じた各市町の景観計画策定等の支援 ○伝統的建造物群保存地区の修理修景、重要文化財・県指定有形文化財の保存修理への補助 ○石鎚山系の自然環境保全継承を目的に環境啓発登山や親子登山等を実施 など 	
市町	○市内事業所従事者への観光体験等を通じた異業種交流研修会による観光まちづくり人材育成(大洲市)	
民間	○石鎚山系でのエコツアー体験等を通じた石鎚山系エコツーリズムの推進(県石鎚山系エコツーリズム推進協議会)	
総括(計画期間における達成度、効果、今後の方針等)		
自然、歴史文化や産業遺産などに他にはない観光資源を活用した情報発信に努めているところであるが、さらに愛媛観光の魅力向上を図るため、幅広い視点に立ち、都市景観や文化財など観光客を惹きつける異分野との連携を構築して、より魅力的な観光資源の創出を図る。		